

土木部の基本方針

(職員数は平成26年4月1日現在)

部局名 土木部 部長名 いしだ こういち 石田 晃一	部局内の執行体制		
	課名	課長名	職員数
	土木総務課	きの つかむ 佐野 勉	16
	道路管理課	あらかわ かつる 荒川 薫	38
	道路整備課	いしい としまさ 石井 利昌	19
	下水道経営課	ひらい きとる 平井 梧	19
下水道整備課	いそむら まさゆき 磯村 正之	29	

基本方針	
<p>「やすらげる環境と安心・安全なまち」の実現に向けて、現場主義の徹底と利用者の視点に立ったまちづくりを推進します。特に、建設中心の時代から本格的な管理・運営の時代へと移行する中、道路や下水道施設の耐震・長寿命化を図り、戦略的な維持管理を進めます。</p> <p>また、近年頻発する局所的な集中豪雨の対策として、床上浸水や緊急輸送路で通行止めの発生している個所を重点対策地区として指定し、自助・公助を効果的に組み合わせた総合的な対策を行い、早期に浸水被害の最小化を図ります。</p>	
平成26年度の目標	
<p>① 橋りょうの効率的な管理を行うため、アセットマネジメントの手法を導入した「橋りょう長寿命化修繕計画」に基づき、計画的な維持管理を推進します。</p> <p>② 下水道事業を健全に運営し、経営状況をより明確にするため、企業会計方式への移行準備を進めます。</p> <p>③ 浸水被害を軽減するため、自助を含めた総合的な浸水対策事業を進めます。</p> <p>④ 継続的な下水道施設の機能を確保するため、長寿命化、耐震化を進めます。</p>	
主な事業	
橋りょう長寿命化修繕事業 (道路整備課)	平成26年度の取組み
	橋りょうの長寿命化を図るため、橋りょう長寿命化修繕計画に基づき、城所架道橋の修繕や橋りょうの点検・補修設計を行います。
	中間報告 (平成26年9月末時点)
	城所架道橋の長寿命化修繕工事及び下花木橋などの点検や美里橋などの補修設計を進めています。
最終報告	
城所架道橋の長寿命化修繕工事を進めています。 また、下花木橋などの点検や美里橋などの補修設計を実施しました。	
下水道事業地方公営企業法適用 (経営基盤強化) 事業 (下水道経営課)	平成26年度の取組み
	経営状況や財政状況をより明確にするため、地方公営企業法適用基本方針に基づき、財務会計システムの構築などの移行事務を進めます。
	中間報告 (平成26年9月末時点)
	関係部局との調整、条例・規程の整備、金融機関の指定等の事務を進めるとともに、財務システム構築に向けてプロポーザル方式による業者選定をしました。また、下水道資産を調査し、適正な区分及び一定の評価基準に従って整理をしています。
最終報告	
企業会計方式の経理事務に係る関係課との調整を行うとともに、下水道資産を調査し、約8割が完了しました。 平成28年4月の企業法適用に向け、移行事務手続き、資産評価、財務システム構築作業を進めています。	

主な事業	
公共下水道整備事業 (下水道整備課)	平成26年度の取組み
	市街化調整区域の汚水整備や局所的な集中豪雨による浸水被害を軽減するため、岡崎地区の西海地雨水幹線や大原、中原地区などの雨水管整備を進めます。
	中間報告（平成26年9月末時点）
	平成26年7月に、平成26年度から平成40年度までの15年間における短期・中期の浸水対策箇所を定めた「平塚市総合浸水対策基本計画」を策定いたしました。西海地排水区や大原、中原地区などの雨水管渠築造工事着手に向け準備を進めています。
	最終報告
	「平塚市総合浸水対策基本計画」に基づき、西海地雨水幹線の整備を進めています。また、大原地区は雨水管を整備し、中原地区ではフラップゲートを改修しました。
下水道ポンプ場 耐震長寿命化対策事業 (下水道整備課)	平成26年度の取組み
	東部ポンプ場の機械・電気設備の長寿命化及び建物の耐震化を図るため、実施設計を行います。
	中間報告（平成26年9月末時点）
	土木構造物の耐震基準が改正されたため、長寿命化を中心に実施設計を行っています。
	最終報告
	東部ポンプ場の機械・電気設備の長寿命化実施設計が完了しました。平成27年度から、工事に着手します。
道路施設維持管理事業 (道路管理課)	平成26年度の取組み
	市民や来訪者に「平塚のバラ」をアピールするため、駅北口広場や駅前大通り線の交差点などにバラを植栽します。
	中間報告（平成26年9月末時点）
	11月に業者が決定し、1月から2月にかけてバラの植栽を行う予定です。
	最終報告
	駅北口広場や駅前大通りの交差点部に、バラを植栽しました。道路用地を活用した、花（バラ）の香るまちづくりを進めます。